



佐土原ロータリークラブ週報



SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005-2006 年度 R I テーマ

会 長：岩 切 正 司 幹 事：柳 田 光 寛
副 会 長：佐 藤 高 元 会報委員長：林 厚 雄
会 計：荒 武 義 博
事 務 局：〒880-0303 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
携帯：090-9596-6114 吉野由里子
例 会 日：毎週水曜日
例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
TEL：0985-73-0109

次週 5 月 24 日 プログラム予定 ロータリー情報

第 928 回 平成 18 年 5 月 17 日 (水)

本日のプログラム

- 1. 点 鐘
- 2. 「それでこそロータリー」
- 3. 会 長 の 時 間
- 4. 幹 事 報 告
- 5. ゲ ス ト 卓 話
- 6. 点 鐘

第 927 回の記録 平成 18 年 5 月 10 日

★ 会長の時間 会長 岩切正司 君
『時代は変わる。人も変わる』

エジプトのピラミッドにも「近頃の若いものは・・・」と、若者を批判する落書きがあったという話がある。

つまり、人類の歴史の底流には、このような世代間の対立が、ずーと続いてきたといっている。だから、現代の年長者だけが『近頃の若い者は・・・』といっているわけではない。では、なぜそんなことが、いつも起こるのだろうか。それは、それぞれ育った時代環境や価値観が違うからだ。そして、時代環境や価値観が違えば、考える事も行動も違ってくるのが当然のことではないか。

その結果、若者たちの言動が、年長者達の常

識とずれていることを、年長者が・・・嘆く・・・という図式ができるのだ。

若者たちの現状を嘆いている年長者も、さらにその前の年長者から、嘆きの対象とされていたのである。ただ、その部分が伏せられているケースが多いだけだ。

★ 幹事報告 柳田光寛 君

○ 宮崎中央ロータリークラブより、
20 周年記念祝賀会出席への礼状案内

○ 地区協議会当日の予定等案内

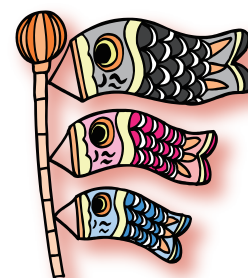
期日：5 月 14 日

時間：6 時 40 分 出発

場所：佐土原総合支所

今月のせしモニー

- ☆ 会員誕生月
岩切正司君
- ☆ 婦人誕生月
藤堂真由美さん
- ☆ 結婚記念月
岩切正司君
太田忍君



※岩切正司君は、ダブル記念月

おめでとうございます♪

★ 会員卓話

中武幹雄君

「いざなぎ景気」VS「平成小泉景気」

いざなぎ景気を支えた当時を振り返って見ると、偶然とも思えない現在との一致点が見えてくる大型合併が相次いだのもこの時代である。

この時代は規格大量生産のビジネスモデルが完成する時代で自動車産業や電子産業を中心に、規模拡大による国際競争力の強化をひたすら目指していた時代である。

企業は収益よりは売上高、すなわち「量の拡大」を最優先に取り組んでいた。

一方、現在とは全くかけ離れた時代指標も多数あり、平均寿命や、完全失業率の大きな違い等が上げられています。

「平成小泉景気」の正体～現在の景気拡大は、いざなぎ景気はもとより、バブル景気時代とも明らかに違う。過去40年間の主要国別経済成長率の違いは一目瞭然である。いざなぎ景気時代は、平均11%を超える超高度成長期だったのである。バブル時代でも5%に近い成長率であった。庶民の景気実感は名目成長率に依存しているといわれており、物価が下落基調にあり、名目成長率が2%を割り込むような現在は、到底「景気が良い」とは感じられないのは当然である。小泉・竹中連合の構造改革は、日本経済を強固な体質に変えつつある。少々の低成長でも利益が出るような筋肉質の体質へと、企業の転換が進んでいる。規制緩和・市場による淘汰のすいしんを推し進めているのが「平成小泉景気」の正体だと思うのである。

★ 下田RC・友好クラブ推進委員会報告

中武幹雄 君

5月2日午後7時より第一回の委員会を開催致しました。

出席者：藤堂・林・水浦・永野・中武

議題 ①なぜ友好クラブを推進していくのか？

〃 ②友好クラブとしての位置付けは？

〃 ③友好クラブとして何を求め、何を与えるのか？

〃 ④今後の運営について

以上についての会議討論した結果、

① クラブとしては十分にプラスになるだと言う結論になりました。

② 下田RCに訪問して例会に出席し、懇親を深めることを第一に計画したい。

③ 十六烈士の情報収集

「清水28人衆を我がクラブの会員に役付けをし雰囲気作りをしていく。」

④ 委員会構成

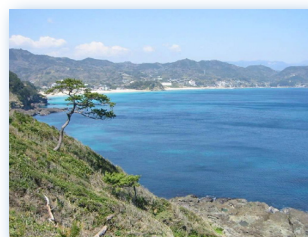
委員長 中武幹雄君

副委員長 林 厚雄君 永野陽子君

委員 藤堂孝一君 水浦達博君

委員会は2年ごとに2名を入れ替える。

2年間隔で交流訪問を行う。



下田市の風景

下田デジタル写真館2より抜粋

<http://www.izuneyland.com/digital2/>

～ MENO ～

出席状況 第924回 平成18年4月12日

会員数	28名	欠席者数	3名
出席者数	25名	メイクアップ	2名
出席率	89.2%	修正出席率	96.4%

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか